

## 武徳祭

小五 藤野 美月

私武徳祭当日の朝、私はとてもきん張していました。練習したのに、二人で合わせられるかが心配でした。だいたい合わせられるようになっていくけれど、回るところが、ほとんどずれるので不安でした。時間がたつにつれてだんだんきん張してきて、会場につくと、爆発するくらいドキドキしていました。

会場は、思っていた以上に広く、人の数を見ると、たおれそうになりました。

武徳祭が始まりました。外国人の人たちは、すごく迫力があり、一生けん命しているのが伝わってきました。私は、すごいなと思いました。それと同時に、やる気がわいてきました。負けていられない。私もがん張らないといけないと思いました。

時間は、どんどん進んで、私たちの番になりました。入場するときから、たくさんの方がこつちを見ていたのが分かりました。私の前の二人が終わり、私の番になりました。立ったときから、頭の中が真っ白になりました。口と体が、勝手に動いているような気がしました。途中で、何度かまちがえてしまいそうになりました。でも、まちがえずにできました。終わると、力がぬけて、たおれこむようにすわりました。やっぱり、少しずれてしまったけれど、練習のときより合わせ

られたし、声も出しました。

退場も、上手にできました。

退場するとき、見てくれていた人たちが、大きな拍手をしてくれたので、安心して退場をすることができました。

今回は上手にできたけど、もっと上手になりたいので、たくさん練習したいです。

桜の木 花がさくころ あいたいな

またいつか 乗ってみたいな バスの二階

リーズ城 のみこまれそうだ 見上げたら

## 「日英友好親善百一周年記念 英国武徳祭」に参加して

虚心流居合剣法 山本 英理

この度、「日英友好親善百一周年記念 英国武徳祭」に参加させていただきました。海外での武徳祭に参加するのは初めてのことだったので、大変緊張しておりましたが、素晴らしい体験をさせていただきました。

ベッジベリー公園での植樹式は大変厳粛・壮大で心に残る行事となりました。

日英同盟は、日本にとって特別に大きな意味をもつ同盟です。長い年月の中には、先の世界大戦で敵味方に分かれ戦うという悲劇もあり